



CEE

Centre for Environment Education

インド教職員 招へいプログラム

振り返りと アクションプラン

プログラム期間中に印象的だったこと



日本で3つの教育機関を訪問した際、問い・探求・調査を通して子どもたちの興味関心を引き付け、理解を深め、生涯学習につながる教育的アプローチに触れました。東京ゆりかご幼稚園では、幼児たちが屋内外での活動を通じて環境に関する学びを深めていました。この体験型自然教育は「経験に基づいた知識」を育み、将来に向けて身につけるべき生活習慣や態度を子どもたちに伝える上で非常に重要です。

アクションプランと今後の展望

1. 今回日本の教職員の皆様とつながることができたため、先生方とのつながりを大切にし、文化的・教育的交流の継続にむけて、両校の間で将来的に実施する交流の実現可能性等を探っていきたいと思います。日印教職員交流会で知り合った日本の先生方とすでに連絡を取り合っており、日本の学校（3校）との交流が実施できることになりました。現在日本の学校との交流内容など企画を進めており、2024年10月末までに1度交流する予定です。
2. 問いや探究等を通じて、子どもたちが自発的に学びにむかうことができるよう、日本の教育的アプローチを所属機関での教育活動に活かしたいです。日本で触れた様々な実践や教育方法は、より深い学びへとつながり、子どもたちの生涯学習や変化し続ける世界で生きるために必要なスキルを身につけることに役立ちます。